石橋春雄議員
（創匝の会）

パークゴルフそうさの運営

問　あさひパークゴルフとの比較で6年度の使用料（売上）で412万円、利用者数で5、924人も少ない。管理費と人件費で2、700万円の赤字である。これまでもこれからも赤字で推移していくのか伺う。

答　「教育長」厳しい運営状況を少しでも改善すべく、管理費等の削減を図り、歳入増加に努めてまいりたい。

ジャンボタニシの退治

問　環境保全活動事業を行っている地区数は30地区、総事業費9、300万円で環境保全活動に取り組んでいる。この事業費の一部をジャンボタニシ対策に振り替え、地域ぐるみで取り組めば効果的であると考えるが。

答　「市長」ジャンボタニシの防除を環境保全会の事業に組み入れることは有効である。保全会との意見交換会や事業計画作成の際に働きかけ、地域ぐるみでの取組を推進する。

旧松山清掃工場の解体費用負担

問　基本計画では匝瑳中継施設が7億円、2機の積替え機導入、ストックヤードの建設が予定されている。費用負担は確定したか伺う。

答　「市長」令和8年度から9年度に整備する計画で費用負担は算出中であり、同組合からの請求に応じて支出することになる。

問　これまで匝瑳市がなぜ多古町及び横芝光町の二町分を負担するのか、理由が知りたくて1年間質問してきた。市は多古町及び横芝光町の負担なしで東総地区広域市町村圏事務組合が事業主体でやってほしいと理不尽な要求を3年余りやっていたから、国の交付金の申請期限がなくなったわけで、二町分を匝瑳市が負担する理由にはならない。東金市外三市町清掃組合は、令和7年10月10日に新ごみ処理施設建設工事契約を締結した。完成する27年度に現在のごみ処理施設は解体され、その事業費に28億円を見込んでいる。その解体費について、東金市外三市町清掃組合を離脱する山武市（旧成東町）は負担することになっている。このように、銚子市、旭市、東金市外三市町清掃組合、山武郡市環境衛生組合全てが、離脱する場合は解体費用を負担することになっている。匝瑳市ほか二町環境衛生組合だけが負担しなくてもよく、しかも二町分を匝瑳市が負担することになっている。市長の見解を伺う。

答　「市長」多古町及び横芝光町の二町分を負担することは既に決定している。匝瑳市ほか二町環境衛生組合の財政調整基金4億2、000万円についても同組合の施設運営における不測の事態等に活用されると認識している。

伊東一成議員
（匝る風）

財政状況について

問　財政状況が急激に悪化した原因についてどのように分析しているか。

答　「市長」本市は歳入面において、若年層の流出による課税人口の減少や企業や工場が少ないことによって市税収入が伸びにくい状況にある。また歳出面において、人件費や物価高騰の影響のほか、令和7年度は小・中学生の1人1台学習用タブレットの更新や、消防庁舎の建て替え整備に係る負担金の増加などが重なったことにより財政状況が急激に悪化したものと認識している。

問　匝瑳市民病院の収益悪化に伴う補助金なども影響を及ぼしているように感じるが、いくら支出しているのか。

答　「財政課長」令和6年度における病院事業会計への補助金及び出資金の総額は7億6、185万6、000円。

働き方改革について

問　他の自治体では様々な取組がみられるが、職員が働きやすくなるような改革を検討してはいかがか。

答　「総務課長」本市では職員の働き方改革を推進し、業務の見直しや課題共有のための時間を確保することにより、事務処理ミスの防止や市民サービスの向上につなげるための取組として、令和8年4月から市役所等の窓口受付時間短縮を施行することを検討中。

定員の適正化について

問　今後市の人口が減少していく。人材確保が厳しく、人件費上昇の対策にもなるので、まずは行政をスリム化し、職員数を減らしていく必要があるのではないか。

答　「市長」事務事業の削減や不必要、非効率な事務の見直しといった取組に関して、第5次匝瑳市定員適正化計画に基づいて推進してまいりたい。限られた財源と人材で最大限の効果を上げることができる組織づくりを図っていく。

駅前ロータリーの運用について

問　八日市場駅前ロータリーは一般車の駐車枠が少なく、特に夕刻などは送迎車両が入り乱れ事故の懸念がある。ロータリーの運用見直しやタクシープールの開放など対策を検討しては。

答　「市長」現在の北口ロータリーは、平成元年3月に完成したもの。一時的な混雑の発生を承知しているが、現行規制の変更は難しい。まずは定量的評価のためのデータ収集に努め、当該データを基に関係機関等との相談も行いながら、混雑対策または交通事故の未然防止対策について調査・研究していく。

ＱＲコードを読み取ると質問した議員の録画映像が視聴できます。